



本号の目次

1. 2016年 IRPA シーベルト講演
2. 2016年 IRPA 会議の論題
3. IRPA 若手研究者表彰
4. 加盟学会入会発展委員会
5. IRPA エジプトの活動

IRPA 出版委員会

委員長: Christopher Clement
副委員長: Bernard LeGuen

会報編集
Chunsheng Li, Ali Shoushtarian

加盟学会リエゾン
Adelene Gaw

ウェブサイト管理運営
Andy Karam, Chris Malcolmson

ソーシャルメディア管理運営
Sven Nagels, Chris Malcolmson

メディア情報収集・提供
Melanie Rickard
Ralph Thomas
Sven Nagels
Young-Khi Lim
Duncan McClure
Daisuke Sugiyama
Cheng Wei

2016年 IRPA シーベルト講演



IRPA はケープタウン開催の IRPA14 国際会議 (2016年5月9-13日)で2016年のシーベルト講演が米国の John D Boice 博士によって行われますことを謹んでお知らせいたします。

Boice 博士はメリーランド州ベセスダを拠点とする放射線防護及び計測に関する米国の審議会 (米国放射線防護測定審議会、NCRP)の委員長であり、テネシー州ナッシュビルのヴァンダービルト大学医科研究科の医学教授です。

放射線物理学、放射線生物学と人の健康影響を融合させてきた長年の彼の業績は、我々の科学的知見を高め、放射線防護指針とその国際的な実施に影響を及ぼしてきました。彼は現在国際放射線防護委員会の主委員会委員でもあり、原子放射線影響に関する国連科学委員会の米国顧問でもあります。

シーベルト賞は、放射線防護における開拓者であり指導者であった Rolf Sievert 教授への敬意を表し、放射線防護への顕著な寄与をたたえて設けられています。その受賞者はこの学問分野で優れて著名な方です。受賞者は IRPA 加盟学会から推薦された候補者から、シーベルト賞委員会により審査され、IRPA 理事会により承認されて選ばれます。

Renate Czarwinski
IRPA 会長

国際放射線防護学会

 <https://www.facebook.com/IRPA0>

 <https://twitter.com/IRPA>

 www.irpa.net

この「IRPA 会報」の日本語訳は、IRPA の公式的な翻訳ではありません。そのため、IRPA はその正確性を保証するものではなく、またその解釈や使用がもたらすいかなる結果についても、一切責任を負いません。
This Japanese translation of "IRPA Bulletin" is not an official IRPA translation; hence, IRPA does not guarantee its accuracy and accepts no responsibility for any consequences of its interpretation or use.

2016 IRPA 会議

www.irpa2016capetown.org.za



会議事務局

Turners Conferences

Po Box 1935, Durban 4000, South Africa,

電話 +27 31 3688000

E メール: info@irpa2016capetown.org.za

共催:



2016年 IRPA 会議の論題

詳細な情報は、会議の公式ウェブサイトを参照願います。手短かに申し上げますと、会議では放射線防護体系の3つの主要な論題を取り上げます。

1. 放射線防護に適用される**基礎科学**
 - A. 疫学
 - B. 物理・化学
 - C. 生物学
 - D. 社会科学
2. 原理原則を構築する**方針、標準と文化**
 - A. 国際基準と勧告
 - B. 倫理的側面と放射線防護文化
 - C. ステークホルダー関与
 - D. 核セキュリティ
 - E. 訓練と教育
 - F. 統合的マネジメントシステム
3. **実務適用**, 放射線防護の実践例証
 - A. 原子力
 - B. 産業
 - C. 採鉱と鉱石処理
 - D. 医療
 - E. 非電離放射線
 - F. 自然起源放射線

各主論題に関する副論題は相互に排他的ではなく、むしろ、主論題への異なるアプローチを例示するものです。横断的な論題はこれらの主論題を特徴づけるもので、下記を含みます:

- i. 作業者の防護
- ii. 公衆の防護
- iii. 患者の防護
- iv. 環境の防護
- v. 緊急時への準備とマネジメント
- vi. 放射性物質の輸送
- vii. 安全評価とリスク評価
- viii. 線量測定
- ix. 廃止措置
- x. 廃棄物管理
- xi. 修復
- xii. 正当化; 防護の最適化
- xiii. 新規設置の計画
- xiv. ラドン安全
- xv. 密封線源の管理
- xvi. その他

IRPA 若手研究者表彰

正式な推薦募集は、<http://www.irpa2016capetown.org.za/Newsletters.asp> を参照のこと

IRPA14 の運営委員会は、若手研究者・専門家に、会議への代表出席に関する特別の招待と奨励を行います。若手研究者表彰と並行して、運営委員会は特別レセプションを設けて若手のネットワーク作りを奨励し、また、権威あるシニア専門家との会合の機会を設けます。有資格者は登録フォームの該当箇所にチェックを入れてください。

表彰の目的

放射性物質や放射線を含む作業は、放射線防護と安全に係る分野において適格な科学者や専門家を必要とします。従って本表彰の目的は、若手科学者・専門家による放射線防護研究や関連する訓練を促進することにあります。IRPA 若手研究者表彰は、成果を経験ある国際的専門家や仲間の聴衆に向けて口頭発表する機会を提供します。

ルール

この栄誉への資格を得るために、若手科学者・専門家は下記を求められます：

- 35 歳以下、もしくはそれ以上の年齢の場合は放射線防護分野での経歴が 5 年以内；
- 候補者が所属する地域の放射線防護関連学会の理事会もしくは科学的な委員会によってアブストラクトが承認された論文の主著者；
- もし成果が複数著者による場合、主著者がこの賞の候補者となることについて、他の著者から書面での合意を得ること；および
- 会議に参加する関連加盟学会が正式に指名していること。

候補者の加盟学会は以下を要求されます：

- 候補者が通常の締め切り(2015 年 9 月 20 日)までに、IRPA2016 のウェブページを通じてアブストラクトを提出したことを保証すること、
- 候補者の氏名とアブストラクトの題目を会議の幹事(e-mail abrie.visagie@necsa.co.za)へ 2015 年 10 月 15 日までに送付すること。各加盟学会からは 1 名の候補者のみ受け付けます。および、
賞の候補者が会議に出席し、論文の口頭発表を行うことができることを保証すること。候補者が資金的制約で会議への参加を保証できない場合は、候補者はスポンサー機関からの奨学金に応募できます。通常、候補者の加盟学会は、必要な場合は資金援助によって、申請者の参加を保証すべきです。

表彰

審査委員会により定められる基準に従って、3賞(1等、2等、3等)が選ばれた若手科学者・専門家に授与されます。賞はIRPA14の閉会式において公表され、賞状と/もしくは記念盾と賞金が授与されます。全ての候補者は閉会式に出席しなくてはなりません。



加盟学会入会発展委員会

(投稿者 Roger Coates, IRPA 副会長)

IRPA は、単に IRPA ファミリーに新たな学会の入会承認をしていた旧入会委員会を、我々すべての学会をさらに実効的かつ専門性を上げることを助ける、加盟学会入会発展委員会に拡張しました。その正式な目的は:

IRPA の規則に従って、未報告の加盟学会には状況を申告するように、放射線防護に係る学会を奨励し支援するとともに、受けた各申告の価値について理事会に通知する責務を負うこと。

各学会の運営や活動の良好事例を見出し共有することを通じて、全ての加盟学会の専門的技術の発展を支援し奨励すること。そして、関連する実務や活動のさらなる発展のための共同作業を支援すること。

今期の IRPA ではこれまで、二つの新たな学会- カメルーンとチュニジア-の入会を承認しました。これによって我々は 63 カ国にわたる 50 学会のファミリーとなりました。我々は現在、近い将来に IRPA に加盟することが期待されるいくつかの学会の発展を支援する活動を行っています。

加盟学会入会発展委員会の活動プログラムにおいて、我々は、新たな学会の創設に大変価値のある雛型規則の更新を行うとともに、既存学会に一層の支援をもたらすために、我々の指針”加盟学会の放射線防護学会の実務における卓越性を促進するため、そして実働的な学会となるための学会援助”を改訂しています。この後者を支援するために、我々は、加盟学会間にわたる経験の共有を通じて、良好実務事例のライブラリを開発し促進するためのプログラムを有しています。このプログラムは各学会が入ることのできるウェブサイト上に、検索可能な、各学会が良い考えや実務と信じるデータが格納されたデータベースとなります。これによって、我々すべての会員が経験を共有することが可能になります。我々はこのプログラムがケーブタウン大会に間に合うように開始することを望んでいます。

我々新規および既存の学会の両方にとって共通の論点の一つは、“なぜ私は放射線防護学会を結成するのか”もしくは“なぜ私は放射線防護学会に参加するのか”という問いかけへの納得できる解答を与えることにあります。実際の役立つ方法でこの論点を扱うために、加盟学会入会発展委員会は**放射線防護学会の便益**に係る明快で簡潔な文書を準備しました。この文書は 4 つの視点に焦点を合わせています:

- 放射線防護学会を結成し所属することの便益
- IRPA を通じた国際レベルでの協力の便益
- 放射線防護学会に所属した際の雇用者の便益
- 国の当局にとっての便益

全ての加盟学会には、仲間が、専門的な放射線防護従事者の学会に所属することの実際の恩恵を確信することを助けるため、この実用的指針を見ることをすすめます。指針は、IRPA ウェブサイトでご覧になれます:

<http://www.irpa.net/members/3/%7B08CF3B39-72FC-4399-A907-DDD0C9439579%7D/Benefits%20of%20a%20RP%20Society.pdf>

第一回 放射線物理とその適用に関する国際会議

(投稿者 M A Gomaa, IRPA-エジプト会長)

2015年4月11日から14日にわたり、放射線物理とその適用に関する第一回国際会議が、アレクサンドリア大学理学部の物理学科会議室において開催されました。会議はアレクサンドリア大学、エジプト原子力庁(EAEA)とIRPA-エジプトにより主催されました。

およそ110名が会議に参加しました。エジプト人以外の複数の国からの参加者が研究論文やポスターの発表を行いました。ルーマニア、スーダン、リビア、サウジアラビア、そして90名のエジプト人が会議に参加しました。放射線と核物理の著名な教授方による12の招待講演がありました。参加者はIRPA-エジプト、アレクサンドリア大学の上級職員とエジプト原子力庁により歓迎されました。

基調講演では、EAEAの副長官からEAEAの現在の活動が紹介され、エジプト原子力放射線規制庁(ENRRA)長官からは現在の規制活動が紹介されました。Mohamed El Fiki教授はエジプト国立標準局(ENIS)の活動を要約しました。国際放射線防護学会(IRPA)と国際放射線防護委員会(ICRP)の歴史について、Gomaaによって概説されました。さらに、第11回の放射線物理と防護に関する会議に係る活動について、Mohamed Gomaa教授によって概説されました。

EAEA、ENRRA、ENISと以下のエジプトの各大学(サウスパレー、アシュート、エル・メニア、カイロ、ベニ・スエフ、マンスーラ、スエズ運河、ファロス海洋アカデミー、アレクサンドリア)からの参加がありました。

会議での論題は、放射線検出の理論と実験、放射線計測、放射線防護、放射線安全とセキュリティ、元素及び同位体分析、医療、そして生物物理学でした。

放射線物理と防護分野でのさらなる研究を奨励するため、若手科学者11名に、エクセレンス認証が授与されました。

本会議は、2018年に第二回の放射線物理とその適用に関する国際会議を開催することを奨励しました。

